

## セアカゴケグモ（特定外来生物） （学名：*Latrodectus hasseltii*）

和名 セアカゴケグモ

原産地 オーストラリア

特徴

- ・成熟したメスの体長は、約 0.7～1 cm。
- ・全体が光沢のある黒色で
- ・腹部の背面に赤い鮮やかな斑紋、腹面に砂時計様の斑紋がある。



生息場所 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物のくぼみや穴、隙間等に営巣する。

例) プランターの底、室外機の裏など

定着状況 大阪府、三重県、兵庫県、群馬県、千葉県、茨城県、神奈川県等、全国32府県で確認されている。

人の生命又は身体に関わる被害

- 刺咬により、局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結をきたし、区域リンパ節が腫張する。
- 通常は、数時間から数日で症状は軽減するが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがある。
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じる。

侵入経路 セアカゴケグモは港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性が高い。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが人為によって運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大されたものと考えられる。

屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性がある。

【参考】環境省HP

[http://www.env.go.jp/nature/intro/5pr/files/r\\_gokegumo.pdf](http://www.env.go.jp/nature/intro/5pr/files/r_gokegumo.pdf)